



メンバーで集まることが楽しいです

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 八雲町野菜グループ連絡協議会 【八雲町】

『食べてから売る』が会の規約

【はじまりは？】

八雲・東野・落部それぞれにあった女性の集まり（JA婦人部、若妻会）が農協の合併によって一緒に活動するようになって現在の連絡協議会になりました。「種をまくのが大好き」「人に食べさせるのが大好き」「美味しい季節の味を地元の皆さんに食べてもらいたい」と考えるメンバーが自然と集まりました。

当時は珍しかったカラフルなニンジン、多品種のばれいしょ、パプリカ、リーキ、辛くない唐辛子などはレストラン等からもとても好評でした。



花まで食べられるルッコラ

【おもな活動】

採れた野菜は、八雲町内の産直市やレストラン（ハーバスター八雲など）・学校給食へ食材として提供しています。レストランや給食に卸すには安定した出荷量が求められるため、毎年あらかじめ作付ける品種や面積を決めておく作付会議を行い、メンバーそれぞれの得意なものを主体に生産担当を決めます。求められた出荷量を満たし、適時に出荷するため、冬季間は雪の下で貯蔵しておくなど、天候や生育状況で過不足が出ないように、小まめに連絡を取り合っています。

【ここが自慢】

【自分が納得しない野菜は売らない】

町内のレストランや学校給食用の野菜を品数と規格を満たすよう管理しながら、納入しています。レストランは会の発足時から30年以上、学校給食も十数年続いています。「子どもたちに、おいしい野菜を食べさせたい」という思いで続けています。

5月から11月の毎月第2第4土曜日に開催する産直市では、固定客と直接顔を合わせた時の会話が楽しみの一つです。

皆さんに喜んでもらえることがこれまで活動を続ける大きな励みにつながっています。



はびあ産直市

連絡先

代表者名：柴田節子さん／設立：1990年／会員：10名

住所：八雲町末広町161
新函館農業協同組合八雲営農センター

電話番号：0137-67-2111

F A X :

E-mail :

U R L :